

416 謀略的弾圧攻撃粉碎・85春闘勝利 総決起集会へ

日刊 動労千葉

85. 4. 6

No. 1909

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

動労千葉は「60・3」に唯一実力決起し、3・24三里塚への三たびの5割動員を実現して意気揚々と闘いぬいている。当局・反動勢力は、動労千葉の組織的前進に恐怖し、組織破壊を狙った様々な攻撃を開始している。動労千葉はいかなる攻撃をもはね返し、当面する85春闘に勝利するため、4月16日、津田沼電車区において「謀略的弾圧攻撃粉碎・85春闘勝利総決起集会」の開催を決定した。全組合員の根こそぎ決起をかちとろう。

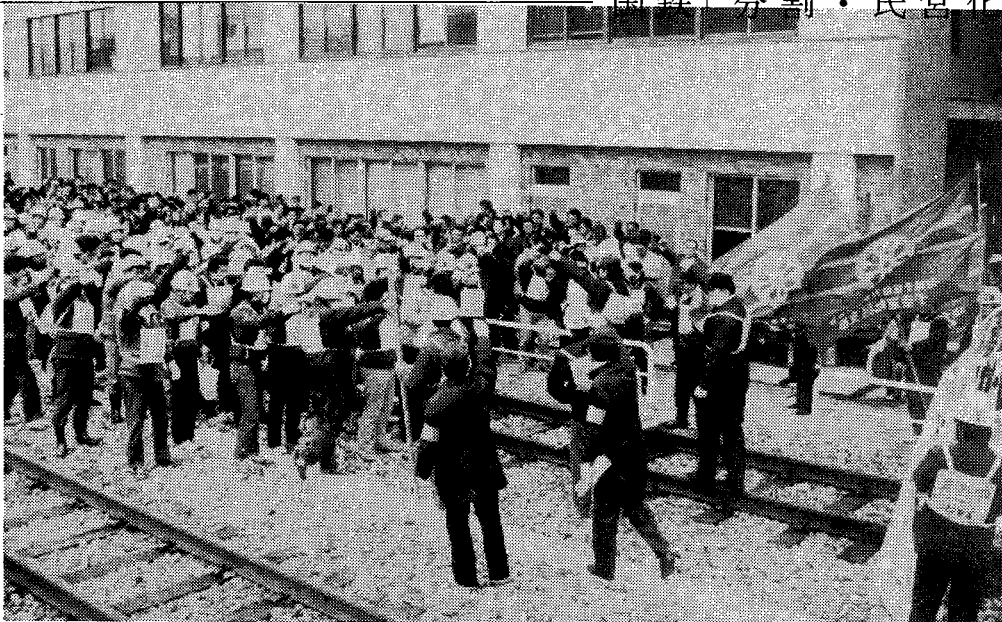
当局に打撃を強制した「60・3」 / 3・24

動労千葉が「60・3」に実力決起し、3・24三里塚への三たびの5割動員の実現を通して組織的前進をかちとった闘いは、一方で当局にはかりしれない打撃を強制した。

すなわち、実力闘争はもとより、国労共闘をも追求した「60・3」闘争の全過程を通して、「60・3」と過員問題はセットである」との動労千葉の主張の正しさが当局論理の骨格をへし折り、完全に有利な地平を切り拓いたからにはかならない。そのうえで、3・24三里塚5割動員の実現は、「60・3」以降、当局が目論んだ「三本柱」を履行するための「職場の力関係の逆転」はおろか、「要員センター」構想さえ提案できぬ事態に追いこんだのだ。

危機意識にかられた 謀略的攻撃

こうした事態に危機感をもった当局、反動分子は、謀略的手段をも使った組織破壊攻撃を開始してきた。すでに明らかにしたように、2月28日



3・24三里塚に決起した動労千葉530名の部隊（於・成田運転区）

の動労中野支部・内田のデッチ上げタレコミを通じた津田沼電車区の動労千葉、国労組合員に対する「カーテン」攻撃をはじめとし、3月17日には津田沼電車区構内に留置された電車に、何者かが「国労ビラ」をはる事件が発生、3月26日には、津田沼電車区構内の電車内広告が燃やされる事件が発生している。

この一連の事態は、明らかに「事件」をデッチあげ、職場に権力を介入させ、「職場規律の確立」の名のもとに戦闘的職場の破壊を狙った悪質な攻撃であり、断じて許すことはできない。

（※）又、これとビタリ連動して、三里塚においても革マルの極めて卑劣な闘争破壊の謀略事件が発生している。

すなわち、反対同盟事務局長・北原敏治氏の「住民票」が、本人の全く知らぬ間に、現住所である成田市から東京都内の杉並革新連盟の事務所へ「転出」引越した」という届出があり、手続きがすまされていったという事件が発生した。現職の成田市議でもある北原事務局長が、しかも、代理の人の手続きで「転出する」ということに不審をいだいた市の担当職員があとで念のため北原氏本人に確認の連絡をとって見届けてはじめて、全くの謀略であることが判明した。北原氏の記者会見で明らかにされた事によると、3月25日の午前10時すぎ、30才前後の小柄のメガネの男が成田市役所をおとすれ、北原氏からたのまれて代理できたとして、北原氏も知っている現在の現職（支援）のA氏を名のって、前述の「転出届」を出して手続きを行って行ったことが判明した。しかし、実際のA氏は七一年仮処分闘争の際の農民放送塔死守決戦での刑が確定して、八三年九月以降現在もお長期の獄中闘争を闘っているものであり、当然のことながらこのような手続きに來られるわけもない。これは、これまでも再三再四にわたって「北原は鉄塔を売り渡した」「権力のスバイだ」などとデマをまきちらして三里塚闘争と反対同盟を破壊しようとした一連の革マルによる謀略・デマ宣伝と同様、北原氏の市議としての資格に傷をつけ、反対同盟幹部が三里塚から逃亡したなるデマ宣伝を開始する目的でしくんだ反動革マルならでは卑劣な謀略であることは一目瞭然である。

中曽根・当局に怒りを燃やし闘おう

一方、当局は「60・3」のダメージを一掃し、本格的な動労千葉破壊にむけた体制を確立せんとしている。人事異動後、「学園」を突破口に姑息な「職場規律」攻撃を開始する一方、「本社」の威をかり、これと一体となった動労「本部」革マルを先兵に、「無理を通せば道理がひっこむ」かのようなやり方に出ている。

われわれは、こうした問答無用のやり方を指を喰わえて見ているほどお人好しではない。

「60・3」ですさまじい労働強化、人減らしを強行し、「過員」を恫喝材料に「三本柱」を強制し、しかも差別・低賃金政策をおしつけ労働者の骨までしゃぶりつくそうとする中曽根、当局の攻撃に怒りを燃やし、断固闘うことを宣言する。

動労千葉は以上の立場から、「謀略的弾圧攻撃粉碎 / 85春闘勝利 / 4・16総決起集会」を津田沼電車区で開催し、当局・動労「本部」革マル一体となった組織破壊攻撃を粉碎し、85春闘勝利にむけ総決起するものである。これがわれわれの85春闘だ。全組合員の根こそぎ決起で圧倒的成功をかちとろう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!